

授業科目名 (英文名)	Communicative English Advanced	科目区分 対象学生	
単位数	1.00	開講年次・ 学期	2年次以上・後期
担当教員	糟屋 美千子	所属	環境人間学部
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	環境問題・貧困・紛争・食糧問題・人道危機など地球的規模で解決をせまられている問題や、身近にある日常生活の問題などについて、自分自身が解決に貢献できる可能性を考え、英語で自分の意見を論理的に述べ、ディスカッションをする能力を高めることを目的とする。特に、ディスカッションでの自分の意見の組み立て方や、相手との意見交換の進め方などの具体的な方法や、そのために必要な姿勢を習得することを目指す。		
講義内容・授業計画	<p>テーマとして現代の社会が抱えるさまざまな問題を取り上げ、それらについて根拠をもとに考えて意見を述べ、ディスカッションをする演習を行う。英語で自分の考えを論理的に述べる方法や、他者の意見を受容・尊重しながら自分の意見を述べることで、視野を広げ、自分の意見をより高度な説得力のあるものにしていくためのディスカッションの進め方を習得する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス (授業の概要・目的・目標の説明) 2. What is discussion? (ディスカッションにおいて重要なことを考える) 3. Giving opinions with reasons and examples (根拠を示して意見を言う) 4. Brainstorming (ブレインストーミングを行う) 5. Evaluating opinions (意見の評価・検討をする) 6. Identifying issues (問題点を明確にする) 7. Making opinions persuasive (説得力のある意見を述べる) 8. Generalizing (主張の一般化をする) 9. Theorizing (理論を生み出す) 10. Disagreeing (反対意見を述べる) 11. Analyzing the relationship between opinions and reasons (意見と根拠を分析する) 12. Having an open mind (開かれた視点をもつ) 13. Working together to create a solution (解決策をともに生み出す) 14. Collaborative problem solving (協力して問題を解決する) 15. まとめと評価 (到達度の確認) 		
テキスト	Discussion Matters: Building Effective Persuasion Skills (Macmillan Languagehouse)		
参考文献			
成績評価の基準・方法	<p>成績評価の基準 ディスカッションの方法や考え方を理解し、実際にディスカッションができるものに単位を授与する。講義目的・到達目標に記載する能力(知識・思考力・表現力)の到達度に応じてSからCの成績を与える。</p> <p>成績評価の方法 平常点(受講態度・課題)40%、定期試験60%を基準として総合的に判断する。</p>		
履修上の注意・履修要件	<p>現在の英語力に関わらず、英語で自分の意見を理由や具体例を述べて、論理的に説明する力をつけるために授業に積極的に取り組む姿勢のある学生の履修を望みます。</p> <p><新型コロナウイルス感染症に伴う特例措置に基づく遠隔授業> 当授業は、原則全ての授業を対面で実施する予定ですが、履修者人数によっては、新型コロナウイルス感染症対策として、履修者を複数の教室に分けて教室間をオンラインで繋ぐ方法や、対面授業と自宅でのオンライン授業を隔週実施する方法とすることがあり、自宅等でオンライン授業の受講を視聴できる通信環境(PC・タブレット等の端末やWi-Fi環境)が必要となる場合があります。最終的な授業方法は履修登録後に決定・連絡します。</p>		
実践的教育	該当しない		

